



**創業110周年記念「フレーベル館ものがたり新人賞」受賞3作品決定！
～未来の児童書業界をリードする、新しい才能を発掘！大賞作は今秋発刊予定～**

株式会社フレーベル館（本社：東京都文京区、代表取締役：飯田 聡彦、以下「フレーベル館」）の創業110周年を記念して創設した「フレーベル館ものがたり新人賞」の第1回受賞作品が決定いたしました。本賞を創設したことで、今後の児童書業界をリードしていく新しい才能にめぐり合うことが出来ました。今後も本賞を通じて、業界の活性化を図るとともに、子どもたちの健やかな育ちを支える「知」と「感性」にあふれた素晴らしい児童文学作品を、世の中に送り出していきます。

■第1回「フレーベル館ものがたり新人賞」受賞作品について

大賞 受賞作品

『右手にミミズク』 蓼内明子（たてない あきこ）

☆今秋、フレーベル館より刊行予定！

優秀賞 受賞作品

『縄文の子』 やまのべちぐさ

『なみだアメ』 金岡由実子（かなおか ゆみこ）

※作品のあらすじは、補足資料をご参照下さい。

※尚、贈呈式および懇親パーティは、4月18日（水）午後2時から日本出版クラブ会館（東京都新宿区）にて開催いたします。

■第2回「フレーベル館ものがたり新人賞」募集開始

小学校中学年から高学年向けの児童文学作品を募集いたします。大賞作品は書籍化、また賞金50万円を贈呈します。「知」と「感性」を育む、フレッシュな作品をお待ちしています。

原稿締切は2018年9月7日（金）です。

※詳細スケジュール等につきましては、順次下記特設サイトにてお知らせします。

「フレーベル館ものがたり新人賞」特設サイト<http://www.froebel-kan.co.jp/award/>



【補足資料】

■フレーベル館の事業内容

アンパンマンや「ウォーリーをさがせ！」をはじめとした児童書などの書籍販売や、保育関連施設向けに遊具や教材、玩具を販売しています。

・フレーベル館コーポレートサイト <http://www.froebel-kan.co.jp/>



■第1回「フレーベル館ものがたり新人賞」受賞作品あらすじ

大賞:『右手にミミズク』 蓼内明子 (たてない あきこ)

小学6年生のタケルはいまだに右と左の区別がつかない。東京からやってきてまだクラスになじめないミノリに、おせっかいなタケルは、ミミズクの絵を右手に描いてもらって近づく。また、父の食堂でよく見かける父子が、ミノリの弟リクであることもわかった。リクがしょんぼりしているのは、短気ですぐにどなりつける父親のせいだとミノリから聞く。父親とミノリの間にある深い溝を知るタケル。ミノリの悩みを少しでも解決することが自分にできるか？ ミノリはクラスのみんなど打ち解けることができるか？……右手のミミズクからパワーを借り、タケルもミノリもクラスのみんなどともに前進する。

優秀賞:『縄文の子』 やまのべ ちぐさ

舞台は縄文時代。少年モンは土器作りの達人である父と弟のカオとともに海辺のムラで暮らしていた。海の神に感謝をささげるマツリの前夜、父の作った土器をひと目見ようと、神への捧げもののために準備された丸木舟に乗りこんだモンは、見知らぬムラに漂着してしまう。そのムラで土器を作り信頼を集めたモンは、黒曜石を探すという名目で旅に出る。しかし本当の目的は故郷をさがすことだった。一方、残されたカオは、マツリを台無しにされたムラ人たちの怒りから父が病死したと、兄をうらむ。そして、理不尽さと執念のあまり、兄を必死で探す。厳しい道中に経験を積み、人の情けを知るカオ。果たして兄と弟は再会し、赦しあうことができるのだろうか。

優秀賞:『なみだアメ』 金岡由実子 (かなおか ゆみこ)

友だちとケンカし図書館の片隅で思わず泣いてしまった、小学6年生の大地。女性司書の守岡に見られ、不思議なアメをもらう。それは自分の涙から作られ、食べると涙がとまり、味といっしょにその原因もわかるという魔法のアメだった。守岡に「なみだアメ」の秘密を聞いた大地は、守岡から小さい頃に友だちだった冬樹をいっしょに探してほしいとたのまれる。守岡は冬樹から「なみだアメ」の魔法を教わったときに聞いた「魔法はいらない、僕は涙が出ない」という言葉がずっと気になっていたという。とうとう探し当てた冬樹は、長い間入院していて大地が想像していた姿ではなかった。自分がいまさら声をかけてよいのか、迷う大地に守岡の魔法が背中をそっと押してくれる。